

## 「転職」志向が3年連続増加 男性の「家庭・生活」重視伸びる

text by しがぎん経済文化センター(産業・市場調査部)

当社では例年、3月から4月にかけて県内企業の新入社員を対象に意識調査を実施している。今年は584名から有効回答を得た。新入社員の5割以上が就職した企業に「定年まで勤めたい」と回答するなど安定志向は根強いものの、約2割は転職も人生の選択肢に入れており、年々増加する傾向にある。また、今年の大々な特徴として男性の「家庭・生活」重視が大きく増加し、男女間の差が一気に縮まった。

【調査概要】  
●調査名:「新入社員意識調査」  
●調査時期:3月28日(月)～4月14日(木)  
●調査対象:当社開催の新入社員研修に参加した新入社員(有効回答数:584名)  
(男性318人(54.5%)、女性266人(45.5%))

### 入社動機は「資格や能力が発揮できそう」が最多で4割

「入社を決めた主な動機は何か」(複数回答)をたずねたところ(図1)、今年も「自分の資格や能力が発揮できそう」(40.9%)が最も多く、昨年より0.9ポイント増加した。次いで多い「企業イメージがよい」は25.8%と2.0ポイント減少。「自分の資格や能力を発揮できそう」は増加傾向にある一方、「企業イメージがよい」は、直近では2013年(31.0%)をピークに減少傾向がうかがえる。また、「これから発展しそう」(17.0%)が昨年より3.5ポイント増加しており、企業の将来性を重視する姿勢も見受けられる。

男女別で見ると、男女とも「自分の資格や能力が発揮できそう」が最も多かったが、女性(45.2%)が男性(37.3%)を8ポイント近

く上回った。逆に男性は「業績がしっかりしている」(22.8%)、「これから発展しそう」(20.6%)で女性を10ポイント前後上回った。

### 自信が持てるのは「協調性」「意欲・やる気」「責任感」

「社会人として必要なもののうち、あなたが自信を持てるもの」(複数回答)をたずねたところ、「協調性」(29.2%)が最も多く、3年ぶりに大きく増加に転じた15年(29.8%)に続いて3割近くに達した。次いで「意欲・やる気」(25.3%)、「責任感」(24.1%)と続き、いずれも増加した。

最多となった「協調性」を挙げる割合は、近年、女性が男性より高くなる傾向が続いていたが、今年は女性28.0%に対し男性30.2%と、逆に男性が2.2ポイント上回った。

### 「管理職にこだわらない」が最多となるも、5年連続で減少

「社会人としてどのような道を進みたいか」をたずねたところ(図2)、「いろいろな仕事を経験したいが、管理職にはこだわらない」(30.9%)が最も多くなったものの、5年連続で減少した。次いで「いろいろな仕事を経験し、部下を持つような管理職になりたい」(25.7%)、「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」(25.7%)、「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」(22.7%)が続いた。

男女別で見ると、男性は「管理職になりたい」(35.9%)が最も多いものの、4年ぶりに減少した。女性は「管理職にはこだわらない」(33.7%)が最多だが、4年連続で減少。また「専門職になりたい」(24.9%)が2番目に多く、6年連続で男性の割合(20.8%)を上回った。女性の専門職志向は根強い。

### 「よい仕事があれば転職」は増加傾向 男性の「家庭・生活」重視、大きく増加

「定年まで勤めたいか」をたずねたところ(図3)、「そうしたい」(52.0%)が最も多いものの、前年比5.3ポイント減と5年ぶりに減少した。一方で「他によい仕事があれば転職する」(19.3%)が3年連続で増加。増加幅も年々大きくなっている。依然として安定志向は根強いものの、転職への意向は高まる傾向にあるようだ。

女性では「結婚したらやめる」(10.9%)が前年比-0.2ポイントと2年ぶりに減少。「子供ができたならやめる」(13.7%)は4年連続で減少した。結婚・出産後も働くという女性の割合は増加傾向にあり、少子高齢化が課題となる中で、育児休業など子育て支援制度の充実や制度を利用しやすい職場環境など、実情に即した社会的サ

ポート体制の構築が望まれる。

また、「会社・仕事」と「家庭・生活」のどちらを重視するかをたずねたところ、「家庭・生活」重視が65.2%と昨年より6.4ポイント増加した。特に男性は64.8%と昨年の54.8%から+10.0ポイントと大きく増加し、3年連続で前年を上回った(図4)。女性は65.6%と前年比2.2ポイント増。男女の差が一気に縮まった。04年からみると、長期的には「家庭・生活」を重視する女性は減少ののち横ばいだが、男性は近年増加する傾向にある。

### 理想の上司は松岡修造さん、天海祐希さん

「理想とする上司像を有名人に例えると」をたずねたところ(下記表)、男性上司は、元プロテニス選手の松岡修造さんが37人(男性15人、女性22人)と、昨年まで10年連続1位のイチローさんを上回って初めて1位となった。女性上司では女優の天海祐希さんが60人(男性26人、女性34人)で7年連続の1位となった。

『その有名人を選んだ理由』では、松岡修造さんは「率先して手本を見せてくれそう」「厳しく指導してもらえそう」「面倒見がよく、何でも相談できそう」が各12人で最も多く、次に「目標ややり方をはっきり示してくれそう」が20人。天海祐希さんは、「頼りになりそう」が27人で最も多く、次いで「面倒見がよく、何でも相談できそう」(20人)となった。

理想とする上司像

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
松岡修造	37	1	天海祐希	60
イチロー	31	2	澤穂希	34
明石家さんま	14	3	真矢みき	15
本田圭佑	13	4	篠原涼子	11
マツコ・デラックス	13	5	北川景子	10

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目(複数回答)

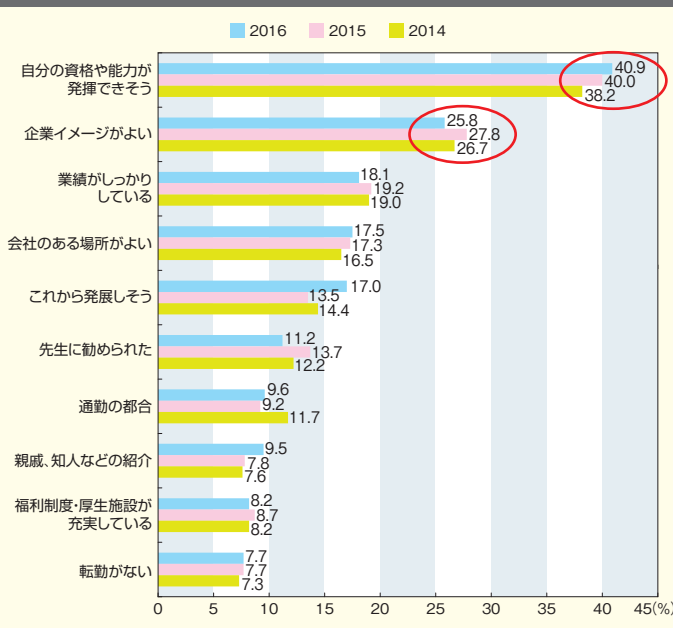


図2 社会人としてどのような道を進みたいか

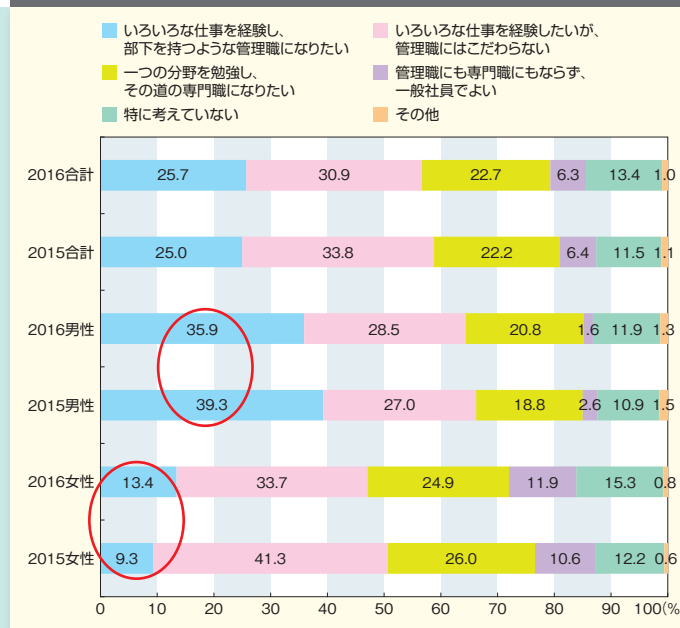


図3 定年まで勤めたいか

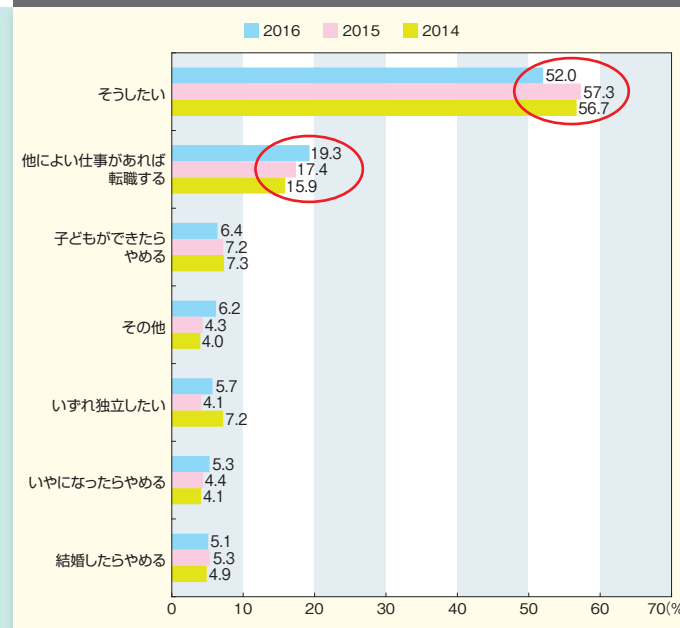


図4 「家庭・生活」を重視する男女の比較

